

## 「第1回まちづくり基本条例 市民学習会」 アンケート結果

問1 参加者数

男性	76
女性	23
合計	99

アンケート回収者数

男性	54
女性	18
合計	72

回収率	73%
-----	-----

問2 アンケート回収者の年代

20歳代	男性	2人
	女性	2人
	合計	4人
30歳代	男性	0人
	女性	0人
	合計	0人
40歳代	男性	3人
	女性	2人
	合計	5人
50歳代	男性	7人
	女性	4人
	合計	11人
60歳代	男性	24人
	女性	8人
	合計	32人
70歳以上	男性	17人
	女性	2人
	合計	19人
無回答	男性	1人
	女性	0人
	合計	1人

問3 アンケート回収者の居住地区

燕地区	24人
吉田地区	17人
分水地区	23人
市外	4人
無回答	4人

問4 この学習会の開催を何でお知りになりましたか？(複数回答あり)

広報つばめ	12人
ホームページ	1人
チラシ	12人
市からの手紙	35人
友人・知人からの誘い	9人
グループ・団体からの呼びかけ	18人

問5 本日の学習会に対するご感想、ご意見などがありましたらご記入ください

あまりにも具体的でない話ばかりでピンとこなかった。出来れば決められた時間内で協議した方が良いのではないかと。
基調講演だけにして、もっと深い内容であってほしかった。パネルディスカッションは不要。
基本条例については、これからの市民に何を考えさせて3地区が早く1つになるために、お互いに持っている力を出し合っているいろいろな意見を聞きだせるものを学習の中で勉強した方が良く思う。
市長の慎重な発言に日々の苦勞がしのばれました。今後とも市政の発展に尽くしてください。

学習の目的が理解できず、今後の出席で感想や意見も出ると思う。
基調講演は整理され、最もなお話で良かった。
馬場先生の話が、今後の学習会の導入部として有効だった。
第1回目としては非常に有意義で分かりやすいと思います。(2人)
第1回の基本から良いと思います。今後わかりやすくお願いします。
パネルディスカッションは良い。
マイクの通りが悪く理解しにくい。(4人)
出席されたパネリストの方々の貴重な経験がより多くの市民に浸透されることを祈っています。
パネリストの自己紹介が長すぎると思いました。(6人)
パネリストの話が大変参考になった。
住民の考えをいろいろな機会に行政に反映させるシステムを作ることは大切なことだと思います。是非、これから力を入れていただければと強く感じます。
有意義な会議でありました。終了時間を守った方が良い。
勉強になった。
このような学習会は非常に大切だと思います。
行政区名が町内会から自治会に変わった時点で、自己責任、自助努力、自己管理の時代になったと思います。
多数の人が参加されたことが良かったと思う。
行政と市民のつながりが大切であり、協力していかなければならないと思います。
学習会なので主催者側の話が多くなる事は理解するが、参加者の質問の時間がもっと多くても良い。
学習会にまちづくり住民会議(100人委員会)の委員及びまちづくり協議会の役員の方々は出席すべきだと思いました。
参加者はもっと若い人たちも参加してもらおうよう働きかけがほしい。(3人)
市長にとってまちづくりとは何なのか？
チラシでは今後も継続して開催とありましたが、全部で何回とか、いつ頃を予定しているという記載がなかったので、あればもっと参加しやすいと思いました。
初めてこのような学習会に参加して参考になった。
まちづくり協議会にかかわって2年になるが、まちづくり協議会そのものについて何をすべきか、どのような目的をもって活動するべきか分からなかったが馬場先生の講演でまちづくりのあるべき姿を何となくイメージすることが出来た。
講演はわかりやすく良かった。
他市におけるまちづくり基本条例の取り組み例、制定後の効果など紹介されるとわかりやすい。次回のテーマなのでまた参加したい。
学習会について大変に有意義であるが現在の地域の状況を考えるとまちづくり協議会の活動に市民がどれだけ協力してもらえるかが課題であり、今後PRや行政の指導協力が一番大切だと考える。
広報やアンケートなどに地区が入っているが地区は無くし、1日も早く新市が一体になることが必要なことではないか。
馬場先生ありがとうございました。
講演の内容は昔からやっていたものや考え方を理論的に話されたように思う。いつから人々の考え方が変わったのか、昔の人々を尊敬するばかりです。
開始時間を守ってほしい。

問6 まちづくり基本条例制定に係る学習会には、多くの市民の皆さんにご参加いただきたいと考えています。今後の参考にしたいと思しますので、参加しやすい時間帯についてお答えください。

『平日』の6時以降の夜間	19人
『休日』の午前	11人
『休日』の午後	27人
『休日』の6時以降の夜間	6人
無回答	5人

その他

- ・ 午後7時30分過ぎ
- ・ 土曜日の午後2時 (2人)
- ・ 休日の午前9時

問7 開催時間帯や開催場所等に関するご意見などがありましたらご記入ください。

車がなくとも参加できる会場を考えてほしい。
交通手段を考えてほしい。
開催場所は各地区持ち回りが良い(4人)
今回の会場が良い(市の中心の場所)、吉田公民館のままで良い。(7人)
総合計画の主な取り組みにある越後線、弥彦線の増発を図る上からも、駅まで列車を利用し、駅からバスで会場へ輸送するよう計画され、少しでもJRに協力していることをJRにアピールすべきです。今後あらゆる会議もこのようにすべきです。
駐車場の広いところにしてほしい。(5人)
休日であれば、朝の時間帯(8:30か9:00)が良い。
開催日時は2ヶ月前くらいから分かった方が予定が立てやすい。できればもっと先の予定まで決まっていたら教えてほしい。
午前中に終了した方が良い。
2時間では足りないようです。

問8 今後も学習会や条例の素案を策定する委員会を開催する予定ですが、参加したいと思いませんか。

参加したいと思う	28人
開催日や開催時間によっては参加したいと思う	38人
参加したいとは思わない	2人
無回答	4人

問9 あなたは、市民と行政の協働によるまちづくりを推進することについてどのように思いますか。

市民と行政の協働は大切であり、今後充実していくべき	37人
行政がまちづくりに責任を持つべきであり、協働はある程度まででとどめるべき	13人
協働の意味や効果、範囲が分かりにくいので何とも言えない	16人
市民と行政の協働は特に必要ないと思う	1人
無回答	4人

その他

- ・ 形だけの協働にならなければ、大いに推進すべき。

問10 あなたは、市民参加・協働によるまちづくりを進めるためには、どのようなことが特に大切だと思いませんか。(3つまで選んで回答)

市の審議会委員等の公募や会議の公開	19人
計画策定等の政策形成過程からの市民参加	29人
市民へのわかりやすい情報提供や相談窓口の充実	37人
財政状況の公表	17人
市民の学習機会の提供や人材育成	21人
自治会や地域コミュニティ活動への支援	31人
NPO(非営利団体)や市民活動への支援	13人
無回答	6人

(仮称) 燕市まちづくり基本条例の策定に関するご意見・ご要望を自由にお書きください。

わかりやすい文面と言葉で条例の文章を作成してほしい。基本条例なので、出来る限り大筋のみを規定してほしい。
専任のコーディネーターに丸投げしないこと。馬場講師に今後も指導してもらおうのであれば、再度しっかりした講義が必要。形だけ市民参加をして完成した条例とならないよう要望。
100人委員会は何だったんですか。条例を作るに当たって今まで良かった部分を見て足りないところを直していけば良いのではないか。
つくるには、議会議員がもっと勉強する必要がある。
国からの指導方針があれば、基本条例策定の方向目標を明らかにしてください。総合計画100人委員会のようにいろいろやっても結果的には行政の方針になったような感じですか？今回の基本条例は、住民の意志、方向を最大限尊重して欲しい。8回の学習日程、内容の明示を希望。各地区の差がかなりある。会議の在り方について一定基準にしてください。

地元企業を入れた力強いまちづくりで少子化対策に取り組む。地域コミュニティから提案される、より具体的な身廻りの事項に対し、わかりやすく、デジタルな対応が必要。福祉にもっと力を入れたまちづくりを推進願いたい。（ハコ作り策よりソフト面の充実）

「市民との協働」に名を借りて「行政」の責任放棄とならないことを願う。合併後、市施設の利用面での不都合面が増えている。（住民のわがままと切って捨てることは簡単であるが）今回の学習会の目指すところと矛盾する現状と思われるが。拙速に結論を急がず市民に充分理解できる「基本条例」が出来上がることを望みます。

戦後の歴史の中、地域コミュニティは希薄になっている。再構築は非常に難しいと思う。特に勤労者の参画をどのような形で行うのか、行政側の心構えが不明のため不安。

市民参加・協働によるまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要なのかを中心に進めてください。特に自治会、地域コミュニティ活動に財政支援がないと活動がスムーズに行かなくなると思う。

行政経費の縮小は免れないこととなれば、市民が行政との協働により効率よくまちづくりができるのか、そんな条例をつくってほしい。まだまだ行政は公で、市がやるべき公のもの（特にハード）は、雑なような空気を持つ市民をどう誘導して行けるか期待する。

自分達の世代では無理もあろうかと思うが、これから自治体としては大事なことだと思う。

燕市総合計画・行政改革大綱は総花的になっていないか。1つ1つを今後忠実に実行されることを期待する。

まちづくり基本条例の策定は広く他市の参考資料を集め、そして審議委員を公募されて会議を重ねて行い、策定に向かって進められることを希望します。また、策定状況については今後も市民に情報を提供願いたいものです。

第1回ではまだ良く分からないが、次から楽しみにしている。この学習会で学んだことを地域に広げて行きたい。長く続くのであるから時間厳守してほしい。

まちづくり基本条例は早く制定してほしい。

具体的な公共的課題を提起して、それを解決するために条例がどのように関わるかを検証しながら実践していく必要あり。総花論で、マニュアル条例ならいらないはず。

基本条例の策定が重要かどうかは今後の課題と考えられる。今の取り組みと市長からの情報及びPRを徹底し、学習と全市民のアンケート又はコミュニティを通じ、住民の意見を幅広く聞き、行政との協働が大切であると同時に自治会の働きかけが一番重要だと考えられる。

無駄な箱物の建設は中止し、地域の要望をきめ細やかに聞いていただきたい。最低限、道路の補修、排水路の改修、防犯灯の設置など身近なことに光を当ててもらいたい。市民1人1人は箱物は望んでいません。若者達に希望のもてるまちづくりを切望します。